

単元構想図【全22時間】

単元の目標

地域内にある施設等について、フィールドワークやインターネット、図書資料から調べたり、それらの施設に関わっている人々の思いを、交流活動を通して感じ、地域に親しみや誇りをもつ。

教材について（主なもの）

- 社会科副教材「わたしたちの板橋」
- 「町たんけん」メモ（「町たんけんのしおり」など）
- 第3学年社会科教科書
- 高齢者体験キット（いたばし総合ボランティアセンターより借受）

知識・技能（知・技）

- ① 「町たんけん」を通して、自分が感じたことや疑問から課題に対して必要な情報を集めている。
- ② 情報を取捨選択し、整理してメモや画用紙、スライドや発表原稿などにまとめている。

思考・判断・表現（思・判・表）

- ① 「自分たちの住んでいる地域について調べる」というテーマに対する問い合わせ・課題を設定している。
- ② 問い・課題に対して、筋道を立てて、比較したり、分類したり、理由や事例を挙げたりして、考えている。

主体的に学習に取り組む態度（主）

- ① 問い・課題に対して、自分の考えをもち、解決のためのよりよい方法を選択して、すんで調べようとしている。
- ② 学習や活動に意欲をもち、見通しをもって粘り強く取り組み、活動を振り返っている。
- ③ 郷土の一員としての自覚をもち、自分でできることを考えたり、実践しようしたりしている。

□主な学習内容 ○学習活動 課：課題設定 情：情報の収集 整：整理・分析 ま：まとめ・表現 ツ：思考ツール（考えるための技法）
力：カリキュラムマネジメントにおける関連する教科・内容 〈評価観点〉→評価方法

＜小単元1＞自分たちの地域について知ろう～交流会を計画しよう～【全11時間】

【単元1で期待する子供の姿】

- ① 自分たちの住む地域内にある施設について調べ、理解を深める。
- ② 調べた施設の中から取捨選択し、施設を利用している人たちとの交流会を計画、実施する。

自分たちの住んでいるまちをもっと知ろう

課 自分たちの住む地域について知っている情報を出し合い、イメージを広げる。①②
→意外と自分たちが知らない場所がたくさんあるなあ。
→消防署、交番、公園、図書館、特別支援学校、老人ホーム・・・
→私は、○○に行ってみたいな。

情 小茂根にある施設について、調べたい施設や調べる方法について決める。③
→地域の施設について児童の生活経験を基に話し合う。
→グループで役割を決めて調べる。
→本やインターネットで調べる。
→職員や利用者に聞く。

整 話し合いを基に、情報を整理する。実際に交流が可能な施設を絞り込む。④
→どんな生活をしているのだろう。

課 「小茂根の郷」の施設利用者や施設の方との交流会を計画する。⑤

～「小茂根の郷」の方々との交流会をしよう～

課 グループに分かれて、交流内容や質問を考える。⑥⑦
→何人ぐらい利用しているんだろう?
→使っていい場所はどれくらいの広さなんだろう?
→どんなことをやると、喜んでもらえるかな?
→時間、役割分担、プログラムをどうするか?
→必要な物は?
→交流するときに気付けることは?
など

整 交流計画を立て、準備を進める。⑧⑨

ま 交流会を行い、分かったことを共有することで、次の交流に生かそうとする。⑩⑪
→喜んでもらえて良かった。
→もう少し一緒に楽しめることを計画したい。

ツ ウェビングマップ (広げる・関連付ける)

刃 3年社会科「町の様子」
〈主①〉付箋・発言

〈思①〉ワークシート・
発言

〈思③〉発言

〈思①〉ワークシート・
発言

〈思①〉話し合い

ツ ドーナツチャート (広げる・関連付ける)

〈思①〉ワークシート
話し合い

ツ ステップチャート (順序立てる)

〈知①〉ワークシート
〈思②〉ワークシート

ツ イメージマップ (広げる・関連付ける)

〈主①〉ワークシート
発言

～「小茂根の郷」のお楽しみ会を成功させよう～

課 「小茂根の郷」交流会を通して、自分たちに何ができるか考える。⑫⑬
→お年寄りでも、もっと楽しめる交流会にしたいという思いから学習計画を立てる。

→お年寄りの困り感について、生活経験から想起したり資料を確認したりして予想する。

情 高齢者の生活を、高齢者体験キットを活用して疑似体験する。⑭

→体験キットを着用した状態で、普段の生活で何気なく出来ていることを体験する。

情 高齢者との交流会の内容について、工夫する点についてインタビューする。⑮⑯

→前年度の経験者である4年生やその担任、小茂根の郷の職員にインタビューする。
→インタビューしたことをもとに、更に気になったことを調べる。

整 高齢者体験を通して分かったことをふまえて、交流会の内容を考える。⑰ (本時) ⑯

→見えづらい、聞こえづらい、手足を動かしづらい。

→素早い動きや細かい作業が難しい。

→利用者の方に、もっと楽しんでもらうには、どうすれば良い?

→学んだことをふまえてプログラムや役割分担などの交流会計画を立てる。

→交流会の準備を進める。

ま 自分たちが考えた活動を実行する。⑯⑰⑯

→交流会の思い出が伝わるようにしたいね。

→学んだことをまとめる。(新聞、作文、絵日記等)

→放課後、訪ねて行ってもいいのかな?

→また交流したいね。どうしたらもっと交流できるかな?

→お礼のお手紙を送りたいなあ。誰に確認をとればいいかな?

・今後につながる活動を自分たちなりに考える。

ま 単元全体の振り返り・総括をする。⑯

発信を見たり、聞いたりした方々からの意見や自分たちの振り返りから、クラス・学年全体で単元を総括し、次の単元へ向けた課題設定をする。

ツ 共感チャート
(予想する)
〈主①〉発言・活動
ワークシート

〈主②・③〉活動
ワークシート

ツ KWLチャート
(関連付ける)
〈思②・③〉
活動・ワークシート

ツ クラゲチャート
(関連付ける)
〈思②〉活動・ワークシート

単元のゴールイメージ
○自分たちが住む地域について調べたい！○自分たちが考えた方法で、地域の方々と交流したい！
○自分たちの思いを発信したい！